

浅野孝之陶芸展

あさのたかゆき
とうげいてん
つみき



2024.5.18 (土曜) - 26 (日曜)

開館時間：午前11時～午後4時

国指定重要有形民俗文化財 村国座
[岐阜県各務原市各務おがせ町 3-46-1]

観覧無料

休館日なし



浅野孝之陶芸展

積み器 tsumiki

丈夫で使いやすく、端正であること。古くから工芸品には「暮らしの道具」としての実用性が求められてきました。しかし、陶芸家・浅野孝之の作品は一線を画し、感性を表現し伝えるための手段として存在します。本企画展では、陶芸教室「ちゃわんむし」の亭主であり二児の父でもある氏が、日々の暮らしから着想を得て制作した約21点の作品を展示します。

土にこだわらず多種多様な素材と技法に挑戦した20代を経て、粘土のもつ柔軟な表現力、燃烧や乾燥による想定外の変化にあらためて可能性を見出したどり着いた現在地。

一見難解な作品群ですが、どれも陶の重さを感じさせない軽やかな空気をまとい、現代陶芸という新たな世界の扉を大きく開いてくれます。

会場は明治時代の農村歌舞伎舞台・村国座。歴史ある木造建築の雰囲気味わいながら、おだやかでユーモアあふれる作品をどうぞお楽しみください。

2024.5.18^土-5.26^日

会場 国指定重要有形民俗文化財 **村国座**
[岐阜県各務原市各務おがせ町 3-46-1]

開館時間 **11:00-16:00** 観覧無料 休館日なし

TALK EVENT 浅野孝之さんによる作品解説会

5.18^土 14:00- 予約不要 参加無料

WORKSHOP 秩序と混沌を楽しむワークショップ

「卓上の景観」

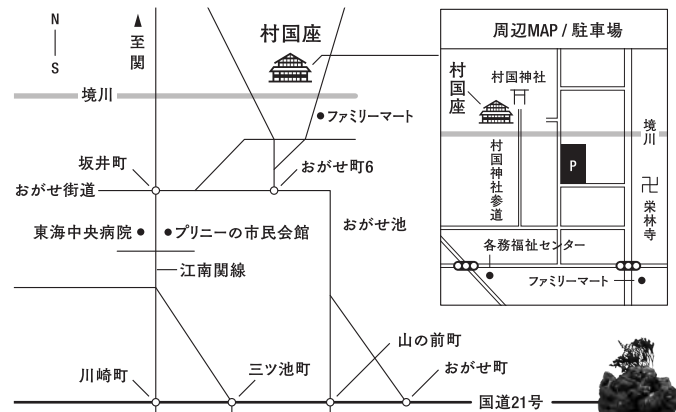
会期中はいつでも誰でも自由に参加できます。

5.18^土-5.26^日 11:00-16:00

- 1 会場にあるフリー粘土で好きなモノを作る。
- 2 作ったモノを一つの大きなテーブルに自由に並べる。
- 3 さて、どんな風景があらわれるでしょうか？

村国座 について

国指定重要有形民俗文化財、各務の舞台「村国座」は、明治時代に建てられた農村歌舞伎舞台で、廻り舞台を備えた舞台と客席を持つ本格的な地歌舞伎舞台です。130年という長い時間の中で建物が老朽化したため、約3年間の「村国座 平成の大修理」を行い、2009年1月に完成しました。



[場所]各務原市各務おがせ町3-46-1 村国神社境内

[駐車場]無料 周辺MAP内P

[自家用車]国道21号「山の前町」または「おがせ町」交差点を北へ約10分 ※車で来場される方は 村国座駐車場 を目的地に設定してください。

[電車]名鉄学ヶ瀬駅から徒歩30分



浅野孝之

陶芸家

1985年岐阜市生。2010年に京都造形芸術大学大学院 芸術表現専攻を修了後、関西を中心に活動。現在は各務原市に拠点を移し、陶芸教室「ちゃわんむし」を営みながら陶による制作を続ける。第三回ぎふ美術展工芸部門 ぎふ美術展賞受賞。

作家在廊日 **5.18^土/5.26^日**



お問い合わせ

公益財団法人かかみがはら未来文化財団

TEL: 058-372-7231

WEB: <https://www.kakamigahara-mirai.or.jp>

